

# ●歩行用トラクターの後進時 クラッチ操作は、ゆっくり

なぜ？

後進する時にはハンドルが持ち上がりやすく  
事故原因の上位を占めています。  
慎重に操作しましょう。

## ヒヤリ、事故

1. 後退しようとした時、アクセルを下げずにクラッチを入れたら、ハンドルが跳ね上がり、後ろの土手に挟まれそうになった。
2. ほ場のすみで方向転換中、バックでハンドルが跳ね上がり、クラッチレバーに届かずどンドン押されてしまい、ロータリーに巻き込まれそうになった。



そこで...

## 対策ポイント

1. 後進時は、エンジン回転を極力下げ、ハンドルをしっかりと押さえながら、ゆっくりとクラッチをつなぎます。
2. 前後進の設定ミスにより、前進のつもりが後進してくる場合もあり得るので、前進時にもゆっくりつなぐことを心がけます。

さらに!

## 追加のヒント

1. 衝突や挟まれるの恐れがあるので、後方の立木、支柱、誘引ワイヤー等の障害物の周りは、余裕ある距離を保つようにします。
2. 旋回は、周囲や足元を確認しながら行います。